

# 平成30年度西洋なし「ルレクチエ」病害虫防除暦

【表示されている農薬の使用基準は平成29年11月末現在の登録内容です】

農業取締法では、農薬使用者の責務や、遵守義務規定、努力規定が定められています。R#を守って正しく使用しましょう。

J A佐渡西洋なし倶楽部

回数	時期 生育状態	主な対象病害虫	農薬 O使用	薬剤名	収穫前 日数	総使用 回数	使用 濃度	100株 当たり 薬量	散布量 g	注 意 事 項
必須	3月上旬まで	褐色斑点病・黒斑病	○	ほ場の褐色斑点病の菌密度を低下させるために、落下果実や落葉の処分、枝の処分を必ず実施する。						・落葉処分は出来るだけ年内に実施し、地域全体で取組む。
1	3月中下旬	黒斑病	—	パスポートフロアブル	休眠期	休眠期 1回	250倍	400 ml	270 (300)	<p>★ 期 間 な ん で 病 の 進 展 間 隔 で 防 除 を 実 施 す る 。防 止 に 重 要 な 作 業 と な る 。</p> <p>★ 大 車 用 刈 草 機 刈 り 地 表 面 で は 車 刈 り 高 さ を 一 番 高 い よ う に 配 置 す る 降 雨 後 な ど に 除 草 を 行 う 。</p> <p>★ 上 の 新 梢 期 間 に 感 染 増 殖 を 防 止 す る た め に 防 除 を 行 う 。</p> <p>★ 大 車 用 刈 草 機 刈 り 後 は 速 に 防 除 を 行 う 。</p> <p>★ 大 車 用 刈 草 機 刈 り 後 は 速 に 防 除 を 行 う 。</p>
2	4月上旬 脱苞期	輪紋病・赤星病 黒斑病・輪紋病 クオカイトラムシ シンクムシ類 ハマキムシ類	—	デランフロアブル ダースバンDF	60日 30日	4回以内 3回以内	1000倍 3000倍	100 ml 33 g	300 (350)	
3	4月中旬 開花直前	ハマキムシ類 輪紋病・黒斑病	—	カスケード乳剤 ベルコート水和剤	14日 14日	2回以内 5回以内	2000倍 1000倍	50 ml 100 g		
4	4月下旬 開花初期	褐色斑点病	—	テーク水和剤	30日	3回以内	600倍	166 g		
5	受粉 2～3日後	褐色斑点病 輪紋病・黒斑病	—	チオノックフロアブル	30日	5回以内	500倍	200 ml		
6	5月上旬 受粉 10日後	輪紋病・黒斑病 赤星病・赤星病 ハマキムシ類 クオカイトラムシ シンクムシ類 アブラムシ類	—	デランフロアブル サイアノックス水和剤	60日 (無袋) 45日	4回以内 3回以内	1000倍 1000倍	100 ml 100 g		
7	5月上旬	黒斑病	○	ポリキャプタン水和剤	7日	5回以内	1000倍	100 g		
8	5月中旬	輪紋病・黒斑病 赤星病・赤星病	—	デランフロアブル	60日	4回以内	1000倍	100 ml		
9	5月下旬	褐色斑点病 輪紋病・黒斑病 ハマキムシ類 クオカイトラムシ シンクムシ類 アブラムシ類	—	キノドーフロアブル ダイアジノン水和剤34	3日 14日	9回以内 6回以内	1000倍 1000倍	100 ml 100 g		
	6月1半旬	シンクムシの交信擾乱		コンフューザーN		成虫発生初期から終期			350 (400)	
10	6月上旬 袋かけ直前	褐色斑点病 輪紋病・黒斑病 赤星病・赤星病	—	フルーツセイバー チオノックフロアブル	前日 30日	3回以内 5回以内	1500倍 500倍	66 g 200 ml		
11	6月中旬	褐色斑点病 輪紋病・黒斑病 アブラムシ・シンクムシ 類 ハマキムシ類 クオカイトラムシ	—	チオノックフロアブル テルスターフロアブル	30日 前日	5回以内 2回以内	500倍 3000倍	200 ml 33 ml		
12	6月中旬 袋かけ後	輪紋病・黒斑病 ハマキムシ類 クオカイトラムシ 類 アブラムシ類 シンクムシ類	—	フロンサイドSC ダイアジノン水和剤34	30日 14日	1回 6回以内	2000倍 1000倍	50 ml 100 g		
13	6月下旬	褐色斑点病	—	パスポートフロアブル	30日	3回以内	1000倍	100 g		
14	7月上旬	黒斑病 ハマキムシ類 クオカイトラムシ シンクムシ類 アブラムシ類	○	ポリキャプタン水和剤 サイアノックス水和剤	7日 (無袋) 45日	5回以内 3回以内	1000倍 1000倍	100 g 100 g	450 (500)	
15	7月中旬	褐色斑点病 輪紋病・黒斑病 シンクムシ類 ハマキムシ類	—	キノドーフロアブル サムコルフロアブル10	3日 前日	9回以内 3回以内	1000倍 2500倍	100 ml 40 ml		
16	7月下旬	褐色斑点病 輪紋病・黒斑病 ハマキムシ類	—	キノドーフロアブル ダニサラバフロアブル	3日 前日	9回以内 2回以内	1000倍 1000倍	100 ml 100 ml		
17	8月上旬	褐色斑点病 輪紋病 黒斑病	—	キノドーフロアブル	3日	9回以内	1000倍	100 ml		
18	8月中旬	輪紋病 シンクムシ類 アブラムシ類 ナシアザミ	—	オゾンサイド水和剤80 スカウトフロアブル	3日 前日	9回以内 5回以内	1000倍 2000倍	100 g 50 g		
19	8月下旬	輪紋病 黒斑病	○	ベルコート水和剤	14日	5回以内	1000倍	100 g		
20	9月上旬	褐色斑点病 輪紋病・黒斑病 ハマキムシ類 シンクムシ類	—	キノドーフロアブル フェニックスフロアブル	3日 前日	9回以内 2回以内	1000倍 4000倍	100 ml 2.5 g	400 (450)	
	9月下旬		—	ヒオモン水溶剤	開始予定日の 21～4日前	2回以内	1000倍	100 g		
21	10月上旬	輪紋病 黒斑病	○	トップジンM水和剤	前日	6回以内	1000倍	100 g		
22	10月下旬	輪紋病	—	ICボルドー412	-	-	30倍	3.3 kg		

◎使用時期は、収穫前〇〇日まで使用可能であること、使用回数は年間〇〇回以内使用できることを示す。  
 ◎有機剤・テウラムなど、同一成分が含まれている薬剤の使用回数に注意してください。  
 ◎上記欄以外の薬剤を使用する場合、臨時防除等は関係機関に相談する。

※落葉前に除草し、モミガラを薄く散布すると落葉処分が容易となる。

※散布量はS、Sによる100a当たりの散布量で、  
 ( )内は手散布の場合を示しています。

- 農薬を使用する前にラベルに記載された使用上の注意事項をよく読み、その内容を必ず守ること。  
 (農業取締法により使用者責任が問われます。)
- 散布圃場の周囲へのドリフト(飛散)に注意しましょう。(可能性がある場合は必要な措置を講じるよう努めること)
- 防除は生育や病害虫の発生予測に注意して適期におこなひましょう。
- 圃地環境(防風樹の整備・草刈りの徹底)をよくしましょう。
- 散布作業には、マスク、手袋等安全防除衣を着用しましょう。